

**平成30年第2回 臨時会 蓮田市教育委員会会議録**

招 集 年 月 日	平成30年7月13日	開会場所	蓮田市役所 301会議室			
開 会 の 日 時 及 び 宣 告 者	平成30年7月13日 午後3時 教育長 西山通夫					
教 育 長	蓮田市教育委員会教育長 西山通夫					
招 集 状 況 及 び 出 席 状 況	席 次	氏 名	備 考	席 次	氏 名	備 考
	1	西山通夫	出 席	4	飯野和之	出 席
	2	杉崎千津子	出 席	5	増田孝	出 席
	3	高橋恵美子	出 席	書記	辻 大 介	
議 事 参 与 者	<p>学校教育部長 高橋良一</p> <p>教育総務課長 松永恭武</p> <p>学校教育課長 槍田光東</p>					
傍 聴 者	5名					

## 会議の進行状況・顛末

開 議 平成30年7月13日 午後3時

西山教育長、開会を宣言する。

**西山教育長** 本日の会議では「平成31年度使用中学校用教科用図書（道徳科）の採択について」及び「平成31年度使用小学校用教科用図書（道徳科を除く各教科）の採択について」を協議します。傍聴希望者が5名ですが、許可してよいか伺います。

全委員承認

また、教科用図書の採択に関し、公開、非公開の協議がなされた。その結果、意見交換の場は公開、最終的な意見のまとめの場については非公開とし、最終的な結果は後日公開することとなった。

**西山教育長** それでは、傍聴を許可します。

傍聴者入室

### 議 事

**西山教育長** まず平成31年度使用中学校用教科用図書（道徳科）の採択について協議いたします。協議に先立ちまして、請願の確認と承認をお願いします。

**黒川指導主事** 請願等の写し一部を、教育委員の皆様にも事前にお渡ししてございますが、今一度、受理状況を読み上げいたしますので、ご確認をお願いいたします。

日本出版労働組合連合会教科書対策部、埼玉教育フォーラム共同代表、新日本婦人の会蓮田支部会長、教育と自治・埼玉ネットワーク及び子どもの人権埼玉ネット、以上4件です。

**西山教育長** 続いて、教科書展示会におけるアンケートについての説明を事務局からお願いいたします。

**黒川指導主事** 本年度は教科書展示会を蓮田市内の中学校で開催いたしました。会場には期間中に187名が来場し、その内102名からアンケートの回答をいただきました。取りまとめたアンケートの結果については資料としてお示しした通りでございます。

**西山教育長** それでは、協議に移ります。これまで多くの時間を研究に費やし、各学年の研究専門委員部長から調査結果の説明をいただきました。これらを踏まえて、意見、感想、事務局への質問等、議論してまいります。

協議のテーマにつきましては、13項目用意いたしました。

それでは最初の協議テーマ、「中学生という生徒の発達段階に合った内容か」から始めます。

**杉崎委員** 東京書籍と光村図書が分かりやすいように感じました。

**西山教育長** 教科書会社によっては1, 2, 3年生でシリーズ物のようにになっている教科書もありましたし、内容を全く切り替えている物もありましたが、どの発行者も発達段階を考慮しているように感じました。

**増田委員** 発達段階に応じた内容という点では、教育出版が良かったと思います。

各教科の学習や様々な活動との関連を考慮した教材の配列、学校づくりという点では、学校図書が非常に見やすかったです。

中学校3年間を見通して、系統性を考慮した教材の配列という点では、日本文教出版も見やすい教科書でした。

このテーマについて、事務局から説明はありますか。

**黒川指導主事** 東京書籍では、段階を経て考える範囲が広がっていくように重点目標を設定しております。例えば、1年生では郷土について、2年生では国について、3年生では国際理解という流れを意識しております。

光村図書では、発達段階に即して、誕生の喜びや臓器移植、尊厳死など、様々な観点から学びを深めることができる内容となっております。

**飯野委員** 学年が進むにつれて、より広く、深い学習内容となるように配慮がされているということが良くわかりました。

**西山教育長** 事務局に改めて確認しますが、東京書籍と光村図書が優れていると感じたということでしょうか。

**黒川指導主事** はい。

**西山教育長** それでは2番目のテーマ「教科書の大きさや文字の大きさを適正なもの」について協議を行います。

**高橋委員** 専門委員からもありましたが、学研の教科書は他よりもサイズが大きいです。

**増田委員** 学研は大きいサイズですが、難しい言葉や、読み進めていくうえで必要な情報が脚注として入っており、文字の大きさや太さも工夫して読みやすくなっています。

**西山教育長** 大きい教科書だからといって、文字が大きいわけではない教科書もあります。

光村図書は国語教科書も作っているのでも、文字の大きさなどに、国語の教科書に近い読みやすさがありました。

**増田委員** 学研は写真やイラストが大きくて見やすく、視力の弱い子供たちの視点からも良いと思います。

**高橋委員** 大きさとは少し違いますが、東京書籍は見た目が綺麗で、文字が見やすく感じました。

**西山教育長** 事務局から何かありますか。

**黒川指導主事** まず学研ですが、お話があったように、他社よりも大きいサイズとなっていることで、写真やイラストが、生徒にとって内容を捉えやすくなっております。逆に、大きすぎる、ここまで大きくなくても良い、との意見もありました。

また、日本文教出版は挿絵や写真を大きく使用し、読みやすいページ構成を工夫しております。

あかつきは中学生にとって文字が大きすぎるという印象を受けました。

日本教科書は文字が小さく、文章量も多いため、読書の苦手な生徒にとって困難さを感じるのではないかという意見もありました。

**増田委員** 紙面のレイアウトについては、発行者ごとに工夫されていると感じました。

**西山教育長** 続いて、3つ目のテーマ「評価しやすいもの」について協議を行います。専門委員からも、難しい部分で非常に悩んでいるという話がありましたが、いかがでしょうか。

**飯野委員** 記述箇所への回答の積み重ねによって評価ができるのかと思います。教科書によっては4段階、5段階で評価する部分を設けており、教員は評価しやすいのですが、それで全て判断して良いのか、と思います。

**西山教育長** 何も指標がないのでは教員も評価しづらいかもかもしれませんが、道徳的価値は数値で評価できるものだろうか、という疑問はあります。

東京書籍では、「授業の取り組みについて振り返ってみよう。」で、教材について興味を持てたか、友達に自分の意見を伝えられたか、といった項目を設けており、こういう評価方法であれば、生徒が一生懸命自分を肯定的に捉えているということを、教員は肯定的に捉えてあげることができると思いました。

**増田委員** 東京書籍も学校図書も、学びの記録をするという視点で、振り返って記述する箇所を設けています。

光村図書は「私の気づき」で1時限ごとに記述し、学びの記録にしていくことで、心の成長や、いろんな見方・考え方を育むのに良いと思います。

日本文教出版、あかつきは、別冊ノートに記述欄がありますが、書く量が多く、負担になるのではないのでしょうか。

学研は他に比べると書くことが少なく、専門委員からはワークシートを使えば大丈夫だと報告がありましたが、評価が難しいのではないかと思います。

**杉崎委員** 別冊があると量が多くて、時間がかかってしまうのではないのでしょうか。

**飯野委員** 評価しやすい教科書として、東京書籍、学校図書、日本文教出版、あかつきに工夫が見られたと感じました。

**西山教育長** 学校図書も毎時限書くところが設けられていました。

**高橋委員** 少しずつ教科書に振り返りを書いていけるのは、そのときの気持ちが表れるのでいいと思います。

事務局から何か補足はありますか。

**黒川指導主事** まず東京書籍ですが、「自分の学びを振り返ろう」という自己評価の資料があり、生徒自身が自分の内面の成長を感じ取れる工夫がなされています。

次に、学校図書ですが、「学びの扉」という振り返りのページが題材ごとに設定されており、学習を振り返り、自らの成長や変容を感じ取ることができるよう工夫されています。

日本文教出版とあかつきは、別冊のノートを用意しています。これを活用することで、生徒の道徳的な価値の高まりを評価しやすくなっています。ただ、活用の仕方については、生徒たちが話し合う時間が大切ですので、時限内で書ききれぬのか、という意見がありました。昨年度の小学校道徳教科書採択でも、別冊を付けている教科書は多くありました。教員は評価方法に不安がありましたので、研究開始当初は別冊に肯定的でしたが、研究の終わりごろは、書ききれないだろう、という意見が多く上がりました。

**杉崎委員** 子供たちがどんな価値観を持って、それを尊重することが大切です。価値判断を評価し、誘導してしまうのは避けなければなりません。

**西山教育長** 次に、既に話に上りましたが、「別冊があるか。あることの良さは何か」について協議いたします。

**飯野委員** 日本文教出版、あかつきが別冊のノートを用意していますね。

**高橋委員** 別冊があれば学習を深められますが、別冊の良し悪しによるので、別冊があるかないかは大きなポイントではないように思います。

**西山教育長** その通りだと思います。価値のある別冊かどうか重要で、この別冊なら使わなくていい、となってしまうのでは困ります。補助資料も載せていますが、学校には補助資料がたくさんあるので、この別冊は使わなくていい、となってしまうます。

**増田委員** 自分や他生徒の考えを書いたり、意見交換したり、道徳的価値を高めるのに別冊は有効かと思いますが、専門委員からもワークシートで代わりができるという意見もありましたし、教員がポイントとする視点を明確にしたワークシートで、別冊に代えられるのではないのでしょうか。

**高橋委員** 事務局から何か補足はありますか。

**黒川指導主事** 別冊を活用し、記録のため、後で振り返ることで、生徒自身の価値を深めることにもつながります。

しかし、道徳の教科化につきましては、考え、議論する道徳として、話し合いや、思考を深める時間を重要視しております。記述することで、自分の中の思考は深まりますが、他生徒の意見を聞きながら深めることも大切ですので、時間の確保との調整が必要になるものと考えられます。また、価値を誘導するような内容になっていないか、心配する意見もありました。

**西山教育長** 別冊についてはあまり拘らなくて良いという印象を受けました。

次に、協議テーマ「教材として自己内省のものだけにかたよっていないか」について

協議します。

**杉崎委員** 題材については、どの発行者も、バランスを考慮して選ばれていたように感じました。

**西山教育長** 反省を促すような内容や、やたらと自分を振り返らせる内容ばかり、という教科書はなかったと思います。

**増田委員** 各教科書とも発達段階を踏まえ、家庭・学校・地域社会といった幅広い分野からの教材を取り上げていると思います。情報モラルや憲法といった現代的な課題についても、各発行者ともバランスが取れていました。また、東京五輪に向けた教材が増えたと感じました。

**飯野委員** 事務局から何かありますか。

**黒川指導主事** 各発行者とも、題材がバランス良く配置されています。各発行者の特徴について説明いたします。

東京書籍では、「いじめ問題」と「生命尊重」に関して複数教材をまとめたユニット構成にしている点で工夫が見られます。また、教材巻末の「考えてみよう」の問いにより、道徳的価値をより実践的なものにできるよう意図されています。

学校図書では、各教材の「学びに向かうために」において、「考えよう」で課題をもち、「考えよう・意見交換」で役割演技や議論する活動を提示しています。

教育出版では、各教材の冒頭に「導入」が設けられており、教材のねらいが分かりやすくなっています。教材終わりには、「学びの道しるべ」として3つの問いが設定されており、生徒が教材について深く考える工夫がなされています。

光村図書では、著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現代の問題を扱った教材があります。

日本文教出版では、「いじめと向き合う」テーマの教材が多く、身近な出来事が取り上げられていることでいじめについて考え、話し合い、学びを深められるように工夫されています。

学研では、主題名を本文よりも前に記載しないことで、生徒が主体的に課題を発見し、他者と議論し深めることができるような工夫がされています。また、学年ごとに重点テーマの教材が扱われているほか、同学年内で複数教材を関連させることで、多様な展開で学びを深められるよう工夫されています。

あかつきでは、「情報モラル」について自分のこととして考えられるような教材を全学年に掲載し、巻末に情報機器を扱う上での危険性やマナーを考えさせる特集ページを設けています。

日本教科書では、価値観の多様性を受け入れる寛容な心を育むことを重点としています。身近な事例や、日本の伝統や文化から、自分と他者の関わり方を考えさせるような工夫がされています。

**飯野委員** それぞれの発行者がバランスを考えて題材を選んでおり、それらの題材の中に自己内省を促す内容のものが含まれているということですね。

**西山教育長** 次に、協議テーマ「何かとたたかって正義を貫いた人を扱っているか」について協議をします。東京書籍、教育出版が特に題材を工夫していたように感じましたが、いかがですか。

**杉崎委員** 東京書籍で田中正造を取り上げていました。また、杉原千畝が多くの教科書で取り上げられていますが、ユダヤ人を取り扱っており、注意が必要かと思います。

**西山教育長** 各発行者で扱う人物に特徴がありますが、その人物が偉人なのかという評価は後世で変わりますので、偉人ばかり扱うというのは困ります。学研は偉人を多く取り上げており、バランスが良くないと思いました。日本教科書は明治の偉人を多く扱っていますが、それで良いのか、と疑問に感じます。

また、日本のために、ユダヤ人のために、という意味を持った人物を扱っていても、地元や一部の人のために活動した人を取り上げた教科書は少なかったです。

**西山教育長** 次に、協議テーマ「漫画が使われているものもあるが、ある漫画に偏らず、いろいろな漫画が使われているか」について協議します。

漫画を用いると、子供たちは簡単に話を受け入れられるようになりますが、その内容が大切です。

**高橋委員** 学研のブラック・ジャックの内容は、どうなのかと思いました。

東京書籍は、全てではありませんが、見出しに、テーマに合った漫画の1コマを掲載しているのは面白いと思いました。

**増田委員** 漫画を扱うと子供たちにとって受け止めやすい教材になると思います。しかし、ブラック・ジャックは、命を扱う題材として難しいと感じました。心にしこりを残す恐れがあります。

**西山教育長** いじめに関する話を漫画で導入していくのはわかりやすいと思いました。

**杉崎委員** 事務局から何かありますか。

**黒川指導主事** 学研の「ブラック・ジャック」、日本文教出版の「ブッタとシッタカブッタ」など、一般的に出版されている漫画を使っている発行者もありますが、発行者で制作した漫画を使っているところもあります。

「ブラック・ジャック」は議論になるように意図したものと思われませんが、しこりを残すような内容になっています。

漫画にすることで、活字が苦手な生徒が内容に入り込みやすく、身近な自分の問題として捉えやすいという良さがあります。

**西山教育長** 次に、協議テーマ「携帯電話、スマートフォン、SNS、インターネット等について取り扱っているか。その扱い方はどうか」について協議します。どの発行者も扱っているようですが、特に東京書籍や学研で工夫が見られました。いかがですか。

**増田委員** インターネット、SNS、ゲームについて、子供たちの実態からかけ離れている教科書もありました。教員が子供たちの実態に合わせる事が大事かと思いますが、東京書籍、学研は系統的に捉えていました。

また、情報マナーも大切だと思います。

**杉崎委員** スマートフォンやインターネットの使い方、トラブルが起きてしまった後の展開を描く話がありましたが、トラブルが起きないようにどうすべきか考えさせる方が親切だと思います。

**高橋委員** インターネット上での悪口によるトラブルなどは、実際に起きているかもしれないので、子供たちに考えてもらいたい題材です。

**西山教育長** 事務局から何かありますか。

**黒川指導主事** どの教科書、どの学年でも、SNS等のネットワークでのコミュニケーションを取り上げており、それだけ身近な問題になっているとわかります。

学研では問題点だけでなく、「熊本地震被災地支援 SNSが威力」という題材で、SNS活用の有効な側面にも触れている点で、工夫が見られます。

**西山教育長** 次に、9つ目の協議テーマ「扱っている資料の中で気になるものはないか」について協議します。

「いじめ」と「いじり」の違いについて考える題材が教育出版にあり、あっても良いと思う「いじり」を書かせる箇所がありましたが、「いじり」も良くないのではないかと気になりました。

**高橋委員** あかつきで、親公認の恋人がいて、その恋人の進路希望に同調するような内容があるのが気になりました。

**西山教育長** 進路希望が恋人の意見に引っ張られ、主体的な進路選択をしないような内容は問題です。

**増田委員** 男女共同参画という視点では、男女とも工業高校を志望していて良いのですが、自分のやりたいもののために自分の進路を自分で選択するという意図を、この教材では示せないのではないかと思います。

**西山教育長** 日本文教出版の3年生教科書での「先人たちが大切にした言葉」は、価値の刷り込みにつながるので良くありません。

**杉崎委員** 事務局からなにかありますか。

**黒川指導主事** あかつきでは、病気と闘う、交通事故にあうという、辛い状況下での生き

方についての題材を他の発行者に比べて多く取り上げており、将来への明るい見通しを感じられる題材が少ない点が意見として上がりました。

**西山教育長** 日本教科書の、ジャッキー・ロビンソンの永久欠番に関する話の信憑性や、「伊勢の神宮～ころのふるさと～」が、宗教が違う人には受け入れ難いのではないか、という点が気にかかります。

次に、協議テーマ「本市の子供の実態に即したもの、例えば関東近辺の人や出来事を扱っているものはどこか」について協議します。特に東京書籍、学校図書、光村図書、学研に工夫が見られたようですが、いかがですか。

**杉崎委員** 東京書籍は1年生の教科書で見沼について取り上げ、岩槻の小児医療センターについて取り上げている教科書もありました。田中正造も身近に感じられる題材だと思います。

**飯野委員** 桶川のお茶を分析した人の話もありました。

**高橋委員** 富岡製糸場は、昔は多くの教科書で扱っていましたが、今回は学研2年生の教科書だけでした。

事務局で何かわかっていることはありますか。

**黒川指導主事** 関東近辺ということであれば、東京書籍では、夏の隅田川の花火大会と灯籠流しを扱っています。

学校図書では、先人の努力と受け継ぐ内容として八王子の多摩織りを扱っています。

光村図書では、「スカイツリーにかけた夢」や「箱根駅伝に挑む」という題材で、関東近辺の内容を扱っています。

学研では、「ヨコスカネイビーパーカー」や「尾高惇忠が目指した富岡製糸場」という題材で、神奈川県や群馬県について取り上げています。

発行者によって取り上げる題材は様々ですが、いずれも郷土愛の育成につながる内容となっています。

**西山教育長** 次に、協議テーマ「アイヌ民族の話や、いじめなど、人権教育に触れているものはどこか」について協議します。

**飯野委員** 事務局から何かありますか。

**黒川指導主事** 教育出版では、「わたしのせいじゃない」という題材で、差別について取り上げています。

光村図書では、「ぼくの物語 あなたの物語」で黒人作家ジュリアス・レスターを取り上げ、人種問題について扱っています。

いずれの発行者も、人権について深く考えさせる内容となっております。

また、いじめについては、どの発行者でも取り上げております。

**西山教育長** 教育出版「わたしのせいじゃない」の後に、銃を持った子供と貧困の子供の写真が掲載されており、一人ひとりの問題として考えさせようとするものでしたが、戦争・貧困は個人のせいではありません。それを「わたしのせいじゃない」と結びつけるのは、視点が異なります。

また、日本教科書のジャッキー・ロビンソンに関する話は、白人社会での人種差別を我慢して乗り越えたから認められた、という書き方がされていますが、一方的で価値の見方がずれていると思います。

**増田委員** 教育出版の「卒業文集最後の二行」は良いと思いました。

また、思いやり、男女共同参画、共存・共生といった視点から、同じ学年の複数教材で人権教育を推進することが必要だと思います。

**西山教育長** 次に、協議テーマ「記述する部分がまったくない発行者はどこか」について協議します。記述する部分がまったくない発行者はなかったようですが、いかがですか。

**増田委員** 1番少ないのは学研だと思いますが、事務局から説明はありますか。

**黒川指導主事** 日本文教出版、あかつきについて別冊の道徳ノートがあることをお伝えしましたが、他の発行者でも、記述する部分が全くないということはありません。題材ごと、もしくはポイントごとに記述する部分を設定しています。

評価することを考えますと、記述する部分がない題材でも、教員がワークシートを用意することが考えられます。

**西山教育長** 次に、協議テーマ「児童憲章に触れているのはどこか」について協議します。

**増田委員** 東京書籍は「その子の世界、私の世界」という項目で、生存権や戦争からの保護などについて示しています。児童憲章の位置づけと取り上げ方については、価値ある教材だと言えますが、武器を持った子供の写真を掲載することが適切かは難しい問題です。

いずれにしても、児童憲章は学ばなければならないものだと思います。

**飯野委員** 子供たちは守られるべきで、幸せに生きる権利があるのだと説明するには、掲載しているページが少ない印象を受けます。

**西山教育長** 事務局から何かありますか。

**黒川指導主事** 児童憲章を取り上げている教科書は少ないです。

東京書籍では、「子ども権利条約」について触れております。

光村図書では、「世界の子供たちの状況」という題材で、子供の権利について考える場を設定していますが、明確に取り上げてはいません。

**西山教育長** 13項目協議しましたが、他にご意見やご質問がございますか。

**増田委員** 進路や生き方を明確にするためにキャリア教育が重要だと思いますが、東京書籍、日本文教出版、学研、あかつきが工夫していたように思います。

**西山教育長** 光村図書は「私が働く理由」で示していました。また、人生目標年表を書かせる補助資料がありますが、1, 2, 3年生でしっかりキャリア教育を行わないと書けるものではありません。

光村図書は「ジョハリの窓」を扱い、教育出版は「幸せな仕事って」で取り上げており、東京書籍も良く扱っていました。

**増田委員** あかつきは「加奈子の職場体験」という題材で扱っていました。

**杉崎委員** 事務局から何かありますか。

**黒川指導主事** 東京書籍では、「将来の自分を見つめて」という題材で、進路に悩む大学生の新聞への投書と、それに答える複数の職業の大人からのメッセージが掲載されております。また、巻末の付録として職業の紹介のページも設定しており、キャリア教育を意識してまとめられています。

**高橋委員** 進路に悩む中学生にとって、東京書籍は適切な題材が設定されていると思いました。

**増田委員** もう一点よろしいですか。教科化するにあたって題材が変更され、他の学年や小学校で取り上げたものが重複することが考えられますが、事務局から説明してくれますか。

**黒川指導主事** 発行者によって、取り扱う学年等が違うため、採択された後に、現在使用している副読本と重複する状況が生まれる可能性は考えられます。

また、小学校で学んだ題材を、あえて中学校で取り上げ、小学校の頃の考え方との違いを捉えさせるとともに、道徳的価値の高まりを実感させるような工夫をしている発行者もありました。

**飯野委員** 私からも1点よろしいですか。別冊のノートを含めて、どの発行者も記述する場面を設定していますが、保護者が記述する欄はあるでしょうか。道徳教育については家庭の関わりも大きいので、記述しないとしても、保護者が内容を確認する場面はあるでしょうか。

**西山教育長** 道徳の教科書を持ち帰ることはまずないので、保護者が記述するのは難しいと思います。事務局からいかがですか。

**黒川指導主事** 1社だけ、日本文教出版の別冊ノートに、1, 2行の保護者記述欄があります。あかつきも別冊ノートを用意していますが、そちらには保護者の記述欄はありませんでした。しかし、ワークシートを活用して、保護者からのコメントをもらうという方法は考えられます。

現在、道徳の副読本は家に持って帰らないよう指導しています。子供たちは道徳の読

み物が好きであり、家で読んでしまうと教材との新鮮な出会いを阻害してしまうため、このような対応をしております。

**高橋委員** 保護者は子供たちがどんな授業をしているのか、わかりません。子供の成長を見届けてもらうということは、価値のあることだと言えます。

**西山教育長** その他に何かありましたらお願いいたします。  
事務局から補足はありますか。

**黒川指導主事** 協議テーマにはございませんが、何点か申し上げます。

中学校道徳の教科化にあたり、学び方について説明するページを設けている発行者が多くございました。巻頭に学び方を示しているのは東京書籍、学校図書、教育出版、日本文教出版、学研、あかつき、日本教科書でした。巻末に設定しているのは光村図書でした。

題材でめざす道徳的価値を題名のすぐ近くに示しているのは学校図書、光村図書でした。題名の近くにテーマを示していたのは東京書籍、教育出版、日本文教出版でした。学研とあかつき、日本教科書は、題名のみで、価値やテーマを題材ごとに明記しておりませんでした。

週1回の授業で年間で35回の授業となりますが、扱っている題材数は、光村図書は36、日本教科書は37、それ以外の6社が35となっております。その中で、一般的な読み物教材とは違い、話し合い等を主とした活動を促す題材を多く設定していたのは東京書籍、教育出版、光村図書、学研でした。読み物教材と、そうでない教材との区別ははっきりと線引きできない部分もございますが、お手元の資料を参考としていただきますよう、お願いいたします。

私からは以上です。

(中学校用教科用図書(道徳科)採択に係る協議終了後)

**西山教育長** それでは、投票に移ります。事務局は投票用紙を配布してください。教育委員は、配布された投票用紙に記入の上、投票箱への投票をお願いします。

(投票用紙の回収)

**西山教育長** 引き続き、平成31年度使用小学校用教科用図書(道徳科を除く各教科)の採択について協議いたします。教科ごとに協議を進めてまいりたいと考えております。  
初めに国語からお願いいたします。

**杉崎委員** 国語で現在使用している発行者と、良い点について事務局からお願いいたします。

**黒川指導主事** 本市では光村図書を使用しております。

語彙指導の工夫が充実している点、既習事項を確認できるまとめや資料が充実している点、鉛筆の持ち方が写真と言葉で両方載っておりわかりやすい点、学習意欲を向上させる内容となっている点、写真や挿絵が多く、内容を読み取りやすくなっている点などに工夫が見られます。

**増田委員** 光村図書以外の発行者で、良い点はありましたか。

**黒川指導主事** 三省堂が、発色が綺麗で子供たちが好きなキャラクターが出ており親しみやすい点、物語などの文章が多く、指導を充実させることができる点に工夫が見られます。

**高橋委員** 子供たちの学習意欲を向上させる工夫がなされているということですね。

**飯野委員** 書写の教科書について現在使用している発行者と、工夫の見られる点について

説明をお願いします。

**黒川指導主事** 現在使用している教科書は光村図書のものです。

朱墨と薄墨を使って穂先の動きなどがわかりやすく示されている点、硬筆のワークシートなど、デジタル教材が充実している点、筆の動きが分かりやすい工夫として「スー、ピタッ、トン」などと言語化されている点などに工夫が見られます。

**高橋委員** 他の教科書で、良いものはありますか。

**黒川指導主事** 教育出版の教科書も全体的に見やすく、資料や写真の配置がよい点、児童の学習意欲を喚起するような導入、ふりかえりにも工夫が見られます。

**増田委員** 資料や写真が見やすい点や、筆の動きがわかる工夫がなされているということですね。

**杉崎委員** 次に、社会の教科書について現在使用している教科書と、良い点について説明をお願いします。

**黒川指導主事** 現在使用している教科書は東京書籍のものです。

「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方で編集されており、児童が主体的に学習しやすい点、写真やグラフが多く、資料活用の力が身に付く点、イラスト、地図が多く、見開きのページにも工夫が見られます。

**増田委員** 東京書籍の他に、工夫の見られる教科書はありましたか。

**黒川指導主事** 日本文教出版の教科書は、單元ごとに「振り返ってみよう」のコーナーが充実している点、記述がシンプルでわかりやすい点に工夫が見られます。

**高橋委員** 資料の活用のしやすさや、学習のまとめに工夫があるということですね。

**飯野委員** 次に現在使用している地図と、その地図の良い点について説明をお願いします。

**黒川指導主事** 地図は2社のみの発行となりますので、両発行者についてご説明いたします。

本市で使用しているのは帝国書院の地図です。地図活用の能力を高める使い方などが載っている点、等高線の色彩表現等が地形の様子を捉えやすいものになっている点、統計資料、グラフが豊富で色彩も豊かな点が特徴です。

東京書籍の地図は、情報が児童にとってわかりやすく、調べ学習に適している点、日本の位置や領土に関する問題、自然災害や防災関係にも触れている点が特徴となります。

**高橋委員** 地図の資料や情報が、子供たちにとってわかりやすい工夫がされているということですね。

**増田委員** 引き続き、現在使用している算数の教科書の特徴について説明をお願いします。

**黒川指導主事** 現在使用している教科書は東京書籍のものです。

課題解決のための話し合い活動の基になるような多様な見方ができる図や表が多い点、子供に考えさせる作り方をしている点、考え方が挿絵と文字で分かりやすく示してある点などに工夫が見られます。

**杉崎委員** 他の教科書の工夫にはどんなものがありましたか。

**黒川指導主事** 啓林館の教科書では、作業がしやすい工夫が見られる点、既習内容と関連が図られており、振り返って学習を進めやすくなっている点に工夫が見られます。

**増田委員** 子供たちに考えさせることや、既習内容と関連させるという点に工夫が見られるようですね。

**高橋委員** 次に、理科の教科書についてお願いします。蓮田市で使用している教科書はこのものですか。

**黒川指導主事** 蓮田市では、学校図書の教科書を使用しています。

観察・実験がわかりやすく、学習の流れを掴みやすい点、読み物が充実しており、科学的な興味関心を高め、学習内容の理解を深めるものになっている点、実験写真などが豊富で見やすい点に工夫が見られます。

**飯野委員** 学校図書の他に、工夫の見られる教科書はありましたか。

**黒川指導主事** 東京書籍の教科書が、実験方法等が写真で分かりやすく示されている点に工夫が見られました。

**高橋委員** 科学的な興味関心を高めていることや、実験方法をわかりやすく表示する点に

工夫があるということですね。

**増田委員** 次に生活の教科書について、現在使われている教科書と、その特徴について説明をお願いします。

**黒川指導主事** 現在使用している教科書は、学校図書のもので。

質の高い写真・図を使った図鑑のページがある点、登場人物が児童の心の様子に寄り添って表現されており、学習の助けとなっている点、写真がわかりやすく、子供たちの活動につなげやすい点、具体例が多く示されている点に工夫が見られます。

**杉崎委員** 学校図書の他に工夫が見られた教科書はありましたか。

**黒川指導主事** 東京書籍の教科書に工夫が見られました。

写真が多く、植物・動物がわかりやすい点、季節ごとの暮らしで分かれ、自然や行事にも関連させ、関心が持ちやすい点に特徴があります。

**増田委員** 生活科の教科書では、活動につなげやすい資料や動植物がわかる資料が大切だということですね。

**高橋委員** 次に、音楽の教科書についてお願いします。

音楽は教育出版と教育芸術社の2社でしたが、本市で使用している教科書の工夫のある点についてお願いします。

**黒川指導主事** 蓮田市で使用しているのは教育芸術社の教科書です。本時の目標がはっきり書かれている点、学習内容や活動内容が図示されてわかりやすい点、全体的に見やすく、歌唱と合奏曲のバランスが良い点に工夫が見られます。

また、教育出版の教科書の特徴としましては、写真が鮮明である点、自分たちで音を組み合わせる音楽を作っていくという単元が入っている点に工夫が見られます。

**杉崎委員** 活動内容がわかりやすいことや、鮮明な写真によって意欲をもって学習に取り組める教科書になっているようですね。

**増田委員** 図工の教科書についてですが、開隆堂と日本文教出版が発行しています。現在使用している教科書はどのような工夫が見られますか。

**黒川指導主事** 本市では開隆堂の教科書を使用しています。見本の写真が大きく扱われて、児童の創作意欲を高めやすく、指導がしやすい点、色鮮やかで児童に馴染みやすい点、題材の作品の様々な作風、素材、技法等、数多く掲載されている点などに工夫が見られます。

日本文教出版の教科書では、参考イラスト、写真等が厳選されており、すっきりと見やすい点、机の上での創作だけでなく、教室や校庭全体を使ったダイナミックな活動が多く、豊かな情操を養うことができる点に工夫が見られました。

**高橋委員** 児童の創作意欲を高める題材や、校庭等を使った様々な活動を工夫しているということですね。

**飯野委員** 次に、家庭科の教科書についてお願いします。東京書籍と開隆堂が出版していますが、それぞれどのような特徴がありますか。また、本市で使用している教科書はどちらですか。

**黒川指導主事** 本市で使用している教科書は開隆堂のもので。写真や図でわかりやすく手順が示され、児童が主体的に学習できるようになっている点、家庭生活や地域活動など、今日的課題が資料等で学べるようになっている点に工夫が見られます。

東京書籍の教科書では、資料の量が豊富である点、生活の中で生かしていけるような工夫が見られました。

**高橋委員** 家庭や地域での活動に結び付ける工夫がなされているということですね。

**増田委員** 最後に、保健の教科書についてお願いします。本市で使用している教科書と、良い点についてお願いします。

**黒川指導主事** 本市では、光文書院の教科書を使用しています。

書き込み欄が多く、理解を促す構成になっている点、学習課題に対してさらに興味関心を高める資料が載っている点、グラフなどのデータが豊富な点などに工夫が見られます。

**杉崎委員** 他の教科書で、良い点が見られるものがありましたか。

**黒川指導主事** 東京書籍の教科書に工夫が見られました。

単元ごとにワークシートがあり、振り返りが容易である点、ポイントが簡潔に示されている点に工夫が見られました。

(平成31年度使用小学校用教科用図書(道徳科を除く各教科)採択に係る協議終了後)

**西山教育長** それでは、投票に移ります。事務局は投票用紙を配布してください。教育委員は、配布された投票用紙に記入の上、投票箱への投票をお願いします。

(投票用紙の回収)

**西山教育長** 長い時間進めてまいりました協議が終了しました。第22地区採択協議会に提出する開票結果、最終的な意見のまとめの場は、先ほど協議した結果、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開で行うと決定いたしましたので、よろしくをお願いします。

それでは、ここで休憩を取り、再開後は非公開の会議といたしますので、関係者以外の方は退席をお願いいたします。

(休憩後、再開)

(以下、非公開審議)

平成31年度使用中学校用教科用図書(道徳科)の採択案について協議した。

平成31年度使用小学校用教科用図書(道徳科を除く各教科)の採択案について協議した。

西山教育長の閉会宣言で第2回臨時会は閉会となった。

閉 議 午後5時2分